

南海トラフ地震を想定した東三河南部医療圏医療活動訓練の基本姿勢について

○ 医療活動訓練の検証内容

南海トラフ地震発生に伴う初動時の情報共有及び意思決定のプロセスを重視し、4つのフェイズに分けて次の内容を検証する訓練とする。

- ① 南海トラフ地震発生後の豊川保健所と自治体災害対策本部保健医療対策部門との情報連携の検証
- ② 各市災害対策本部保健医療対策部門と医師会並びに基幹的病院との医療救護活動（医療救護所、避難所巡回診療等）に関する情報連携及び意思決定のプロセスの検証
- ③ 豊川保健所と医療コーディネーターによる医療支援活動支援に関する意思決定のプロセスの検証
- ④ 豊川保健所と災害拠点病院との連携と要請事項の検証

○ 災害時医療救護活動に係る各市の本部機能（地域防災計画上の位置づけ）

【豊川保健所とのカウンターパート】

- ① 豊 橋 市…市災害対策本部（市保健所は医療情報の収集と医療の確保）
- ② 豊 川 市…市民病院（医療救護所の設置は市災害対策本部）
- ③ 蒲 郡 市…市医療救護活動対策本部（保健センター）
- ④ 田 原 市…市こども健康部

○ 関係機関における重点検証項目（案）

各 市	① 豊川保健所との連絡方法の確保 ② 被害状況に基づく医師会との連携・協議 ③ 被害状況に基づく豊川保健所への支援要請内容の検討
医師会	① 本部機能の立ち上げ ② 医療救護活動可能な会員の把握 ③ 長期化を見据えた活動限界の認識 ④ ③の認識に基づく市との活動内容の協議
災害拠点 病 院	① 被災者対応における災害拠点病院としての役割と地域医療としての役割 ② 豊川保健所からの要請事項（医療コーディネーターとの意見調整結果）に対する対応の優先度
その他団体	① 活動可能な団体会員の把握 ② 長期化を見据えた活動限界の認識 ③ 市及び医師会からの協力要請に対する活動内容